

最前線レポート

新居浜高専の学生が中心となって年2回、地域の方々に日頃の成果を発表する場として開催する「高専ソコヂカラ」。熱心に指導にあたられる電子制御工学科 白井みゆき講師はこのほかにも「暮らしと放射線」についての講演を各所で受けるなど精力的に取り組まれています。
今回は白井講師の想いとその取り組みを中心にお話を伺いました。

学生の
手作り
イベント



電子制御工学科 白井みゆき 講師

専門分野：
高エネルギー物理学
担当科目：
情報処理2
電子回路1
電気基礎演習
情報リテラシー
実験実習

など

◆ 高専ソコヂカラ!とは何ですか?

高専ソコヂカラは、2006年に新居浜高専チャレンジプロジェクト制度の支援を受けスタートしたイベントで、その後学生会の行事となり今年の夏で第15回を迎えました。当時のブラスバンド部(現吹奏楽部)部長と奇術愛好会(現奇術部)会長の二人が、部員のやる気が出なくて練習に来ないのをなんとかしたいと考えた末、チャレンジプロジェクトに申請してイベントを開催したいと私に申し出てきたのです。

しかし、ステージの運営など誰もやったことがないため、市内のステージクリエイトの好井さんにステージ運営のご指導と第1回の舞台監督をお願いしました。皆で好井さんのやり方を一生懸命学び、第2回は私が監督しましたが、「学生の手作り」に意味があるという部長たちの考えで、第3回以降は舞台監督を含めてやれることはすべて学生がやっています。

当初は好井さんや学生たちとの話し合いで、学生はもちろん、地域の高校生や一般の方々も気軽に出演してもらいアーティスト気分を味わえるイベントにしたかったのですが、高専は他の高校などと年間行事予定が全く違うためにスケジュール調整が難しく、残念ながら高校生の出演は実現していません。しかし、何回かはゲストとして地域の方や他高専のメンバーにも出演してもらうことができました。また、当初は予算の都合で出演できなかった軽音楽部も、市内のジャンドールさんのご協力ですら昨年夏から出演しており、今では新居浜高専文化局のお祭りのように楽しいイベントとなりました。私も育児休業を機に相談役を退き学生支援委員におまかせし、一出演者としてイベントを思い切り楽しんでいきます。



学生会の「よさこい」



ダンス同好会



奇術愛好会(現奇術部)



吹奏楽ステージに登場した
銭形警部と捜査員
(第2回ソコヂカラより)

◆ 研究内容について教えてください

高エネルギー物理という、素粒子反応の実験に関する研究をしています。素粒子というのは物質を構成する基本粒子のことで、それが一般の世界では『放射線』という形で登場します。そこで、放射線を測定したり解析したりするツールの研究開発をしています。

また、『放射線』というものについては、一般の世界ではあまり馴染みがないことから、中等教育機関の理科の時間に使ってもらえるような放射線に関する教材を学生さんと一緒に作成しています。

	フェルミオン			ボソン	
クォーク	u アップ	c チャーム	t トップ	Y 光子	
	d ダウン	s ストレンジ	b ボトム	g グルーオン	
	レプトン	ν _e 電子ν	ν _μ ミューν	ν _τ タウν	W Wボソン
	e 電子	μ ミューオン	τ タウ	Z Zボソン	H ヒッグス

素粒子(例. クォーク)の種類

◆ 放射線に関する啓蒙活動への取り組み

東日本大震災による原発事故により放射線についての心配をする方が増えていますが、これに対して放射線の専門家による一般への啓蒙の取り組みはなかなか進んでいません。中等教育機関での放射線に関する教育の質と量は十分とは言えませんが、今後の日本においてはどのような方も何らかの形で放射線と向き合って生きていかなければならない以上、遠回りかもしれませんが中等教育こそ、放射線に関しての教育を十分に行うべきであると考えています。

そのために、感性の若い学生にどんどんアイデアを出してもらい、理解しやすい教育教材とはどのようなものなのかを常に追求し、最先端技術に近い高専という立場をフル活用し、よりわかりやすく楽しく放射線に関する知識を得られる教材の作成や講演をめざしていこうと思います。

—ありがとうございました。